



「新たな歩みを」

大分県支部長 小松 生長

会報 おおいた

俳人協会大分県支部

発行所
俳人協会
大分県支部
発行人
俳人協会大分県支部
代表者
小松 生長
事務局
大分市高崎3-13-14
神足方(かみあし律)
(題字: 江田 居半)

郵便局振替口座番号
01740-3-24968
俳人協会 大分県支部

俳人協会大分県支部はめでたく創立三十年を経て今期より十一年目の新たな歩みを始めました。この二年間は予想すらしなかった新型コロナウイルス禍のため、総会や俳句大会への皆さんの出席がかなわず紙上開催という状態でしたが、今回は思い切ってウイルス対策をしながらの開催に舵を切ったところ、期待した以上の多くの方々のご参加を得て無事に終えることができました。ありがとうございます。去年から今年にかけて、第十五回九州大会の開催や、皆様の合同句集でもある大分県支部「三十年史」の発行等

大きな行事や事業もあったのですが、これらも会員のご協力を得て乗り越えることができ役員一同喜んでおります。今年度の役員改選では、支部の為に献身的に働いてこられた阿部正調副支部長をはじめ、光成えみ会計、坂本多加江・河野美千代幹事四名の方が退任されました。長年に亘り本当に有難うございました。深く感謝申し上げます。新たに幹事に佐藤眞理子さんが加わりました。これからは県支部発展のため役員一同尽力していく所存です。どうぞ宜しくお願いします。また第三十回俳句大会では関

西より「山茶花」主宰の三村純也先生をお迎えしての講演、俳句大会となりました。「虚子を読み直す」という演題のもとに、今まで私達が知らなかった虚子の一面と、興味深いエピソードを交えながらの句鑑賞が行われ、新たな感動を与えていただきました。一般の参加者も加わり、盛大に大会を終えることができました。大分県支部が目標とする「親睦と交流」「個々の俳句の研鑽」「地域の俳句の興隆」に少しでも適うものになったのではと思っております。なお、今年の秋はコロナウイルスに十分な注意を払いながら宇佐神宮での吟行俳句大会を開催する予定です。すでに役員に動き出してもらっています。どうぞこれからも支部の活動にご参加ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



第三十回俳句大会成績 — 募集句の部 —

三村 純也 選

特選

湯けむりの朝の総立ち鳥帰る

別府市 安藤ミヤ子

準特選

揚雲雀空いち枚を広げたり
大阿蘇に春けぶらせて焰立つ
狛犬に祖父の銘あり春の宮

大分市 竹下百合子
大分市 中尾 豊子
臼杵市 徳永 榮子

入選

か は た れ の 声 高 う し て 見 張 り 鴨
掃 初 に 隣 の 分 も 少 し だ け
フ エ リ ー 出 て 港 に 残 る 朧 か な
感 涙 は あ な た の 宝 卒 業 す
総 身 を 水 に 揺 ら し て 蝌 蚪 生 ま る
母 を 呼 ぶ み ど り ご の 声 聖 五 月
見 下 ろ し て 見 上 げ て 城 の 桜 か な
茎 立 の ブ ロ ッ コ リ ー の 花 盛 り
釣 れ な く て 男 の 子 河 原 の つ く し 摘 む
日 の ぬ く み ま と ふ 蓬 を 摘 み に け り
春 疾 風 白 馬 の 如 く 雲 翔 る
餅 を 搗 く 心 づ も り の 蓬 摘 む
剣 道 場 部 活 は じ ま る 桜 か な
さ く ら さ く ら 遊 び 足 り な い 子 ら を 追 ふ
バ ス 停 に 遺 る 郷 の 名 花 辛 夷

由布市 由布院 静
佐伯市 安藤しげる
大分市 黒木 豊
津久見市 石井 明美
杵築市 平田はつみ
大分市 利光 幸子
大分市 小田 祥子
大分市 栗林多世子
別府市 森本 育子
由布市 小野 瑞季
由布市 橋本真喜子
大阪府 畠中 俊美
大分市 睦ほたるこ
大分市 かみあし律
大分市 かみあし律

特選をいただいて (募集句)

湯けむりの朝の総立ち鳥帰る

安藤ミヤ子

この度は「山茶花」主宰三村純也先生の特選を頂き誠に有難うございました。別府に定住して三十年近く、湯けむりはこの町の欠かせない風景です。以前NHKのTVで二十一世紀に残したい日本の風景に、「別府の湯煙」が二位に選ばれておりました。遠近限りなく立ち上がる湯煙は人の心をとらえます。

夫の他界とコロナ禍の中、家に籠つての日々でした。久し振りにお彼岸の墓参に娘と車で出掛けました。途中鉄輪地帯の湯けむりを車中から見上げながら、噴気と共に立ち上がる湯けむりが甦って来る様でした。墓参を済ませた帰りは海を眺めながらの下山で、

お天気に恵まれたお彼岸のいち日を過ごす事が出来ました。

湯けむりの句で特選をいただき有難うございました。



三村先生と安藤さん

第三十回俳句大会成績—当日句の部—

三村 純也 選

特選

雨の日は雨詠む暮し茄子の花

大分市 小田 祥子

準特選

校庭の尊徳像の五月雨るる
ほうたるのつに闇の動き出す

大分市 豊東美智子
大分市 竹下百合子

入選

喋らずに一日終ひぬ髪洗ふ
この村にまだ未来あり鯉のぼり
青嵐鳶は高きを舞ひにけり
手話学ぶ子らの指先聖五月
子の駆けて写りに入る花の下
大南風沖繩の日と思ひけり
青嵐四肢四肢ふんばつて仔牛起つ
猿山に初子生まるる若葉風
かつてこの麦生の道を征きしまま
夏つばめザビエル像に十字切る

大分市 首藤 加代
国東市 吾 亦 紅
別府市 森本 育子
別府市 糸永 悦子
大分市 坪内 勉
大分市 市ヶ谷洋子
別府市 亀田多珂子
大分市 松村 勝美
日出町 小松 生長
大分市 富尾 和恵

互選

雨の日は雨詠む暮し茄子の花
この村にまだ未来あり鯉のぼり
夏帽を父にあづけて逆上がり
ほうたるのつに闇の動き出す

大分市 小田 祥子
国東市 吾 亦 紅
大分市 睦ほたるこ
大分市 竹下百合子

特選をいただいて(当日句)

雨の日は雨詠む暮し茄子の花

小田 祥子

この度は「山茶花」主宰三村純也先生の特選を賜り誠にありがとうございました。

又、過分なる句評を頂き身に余る光栄に存じます。八十才を過ぎ刻の流れに逆らわず老も病も少しずつ受け入れ毎日を過しております。「今日は豆ご飯がおいしく炊けたわ」「今日は散歩の途中燕の巣を見つけたの」そんな些細なことに喜びを感じられるのも俳句に出会えたからこそです。

残された人生一日一日を心おだやかに俳句と向き合って行けたらと願っております。

小川軽舟の句

「死ぬときは箸置くやうに草の花」

かくありたいものです。



三村先生と小田さん



大分県支部「三十年史」刊行

昨年の五月に会員作品を募集しましたところ、百十八名の参加を頂き本年五月に「三十年史」を刊行できました。編集期間中の私の映画のエンドロール風の「スペシャルサンクス」は大分支部の大梁であった「落の里」の残念な終刊です。阿部正調主宰の支部貢献に感謝し、今後のご健勝を祈念いたします。

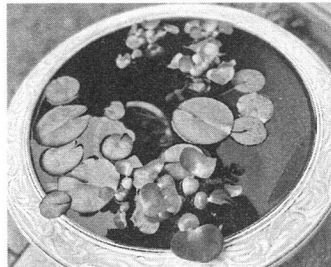
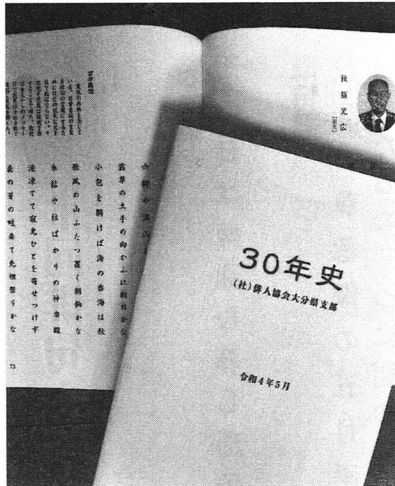
個人では、投句後、物故された佐々木多恵様、刊行直後亡くなられた清瀬善三様のことで、皆様の揺るぎない支えです。

「三十年史」を刻めました。大感謝です。

「三十年史」は会員皆様の作品十五句と過去三十年の句会記録等が網羅されています。この機会にお求めください。尚、本誌は俳人協会本部、九州各県支部、図書館等に献本されました。「三十年史」のリクエストは、余部(三十部程度)ある限りお受けします。

(連絡先 松本公節
090-1364-9929)

編集委員 松本公節



第三十一回支部総会・俳句大会

風薫る五月十五日、大分県支部では新型コロナウイルス感染症拡大の為二年間紙上で行った総会が今年三年振りにホルトホール大分において、開催されました。参加者五十三名でした。

総会は午前十時半開会。昨年度の事業・決算報告、並びに本年度の事業計画・予算及び役員改選を審議しすべて原案どおり承認されました。

午後からは俳句大会が行われ、最初に事前募集の入選者の表彰があり、選者の三村純也氏より講評をいただきました。続いて、三村氏による講演「虚子を読み直す」。

高浜虚子の代表句より、明治三十三年虚子二十六歳の時に詠んだ「遠山に日の当たりたる枯野かな」から昭和三十四年の辞世の句「独り句の推敲をして

遅き日を」までの三十句を紹介し解説をして下さった。俳句は古典文学を根底に多彩な角度から詠まれている事を、解かりやすくエピソードを交えながら語られた。氏のやわらかい関西訛りの講義は会場を和ませ七十余名の参加者に「虚子を読み直す」事を提言されました。その後当日句の選に入り、互選賞を含めた表彰並びに選評も行われ、盛会裡に終了しました。参加者七十余名。

私は今回初めてスタッフとして会に参加させて頂きました。和気あいあいとした支部の皆さまとの出会いに感謝です。宜しくお願い致します。
(佐藤真理子)

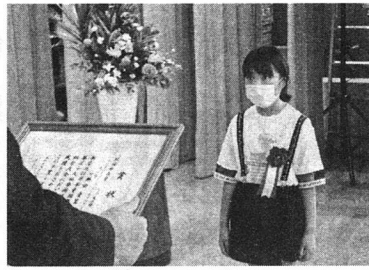


三村純也先生を囲んで懇親会

日本童話祭(久留島武彦顕彰)「全国児童生徒俳句大会」によせて 牧野桂一(朝鳥・天為)

今回、俳人協会大分県支部の会報に、玖珠町が日本童話祭の行事の一環として開催してきました「全国児童生徒俳句大会」の紹介をさせていただく機会を与えていただきました。

この俳句大会は、来年度40回を迎える歴史ある全国的な児童生徒の俳句大会です。角川春樹、有馬朗人、倉田紘文、牧野桂一等が玖珠町に協力しながら創設し、発展させてきた全国の児童生徒だけが対象となる俳句大会です。参加者は8,300人を超え、応募句数は18,100句を超える大きな規模の俳句大会になっており、俳句をユネスコの文化遺産にする運動にも町を挙げて力を入れていきます。



2022.5.11(水) 大分合同新聞

来年は、記念すべき40回の大会になりますので、地元大分の俳句を愛する皆さん方とも幅広く協力していくことができれば、俳句の発展にも寄与できるのではないかと思っています。40回大会の概要は左記の通りです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

募集要項

【目的】「童話の里くす」は、日本の児童文化活動の礎を築いた「日本のアンデルセン・久留島武彦」を顕彰し、児童文化の高揚を図るといふ主旨のもと、全国より児童生徒の俳句を募集し、すぐれた作品を表彰する。

応募規定

- (1) 小学生の部・中学生の部・高校生の部の3部門とする。
- (2) 投句は一人3句以内とし、別記投句用紙にて投句すること。
- (3) ※団体投句の場合は、所定の総括表を必ず添付すること。
- (4) 投句については無料とする。
- (5) 投句は有季定型句に限る。季節は自由。
- (6) 盗作・二重投句は禁止する。

●募集期間 令和4年9月1日～12月15日(持込・必着 郵送・消印有効)
●応募先・お問合せ 〒879-1440 大分県玖珠郡玖珠町森868番地の2
TEL 0973-7216012

玖珠町立わらべの館内
第40回全国児童生徒俳句大会事務局 係

●大会選者 牧野桂一(俳人協会会員「天為」同人)ほか
●表彰式 令和5年5月4日 玖珠町立わらべの館 大座敷にて
●各賞

- ・久留島武彦賞(1点) ※表彰式及び日本童話祭へご招待(国内受賞者のみ)
- ・文部科学大臣賞(1点) ※表彰式及び日本童話祭へご招待(国内受賞者のみ)
- ・朗人賞(1点) ※表彰式及び日本童話祭へご招待(国内受賞者のみ)
- ・紘文賞(1点) ※表彰式及び日本童話祭へご招待(国内受賞者のみ)
- ・桂一賞(1点) ※表彰式及び日本童話祭へご招待(国内受賞者のみ)
- ・大分県知事賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)
- ・大分県教育長賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)
- ・玖珠町長賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)
- ・玖珠町議会議長賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)
- ・玖珠町教育長賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)
- ・大分県俳句連盟会長賞(小学生の部1点・中学生の部1点・高校生の部1点)

(主催) 日本童話祭実行委員会・全国児童生徒俳句大会実行委員会
(共催) 玖珠町・玖珠町教育委員会
(後援) 大分県・大分県教育委員会・玖珠町議会・大分県俳句連盟
大分合同新聞社・西日本新聞社・NHK大分放送局
OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送

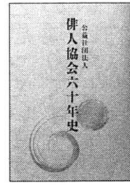
俳人協会本部より

創立六十周年記念事業出版物

俳人協会60周年記念事業の出版物6冊が刊行され、会員の皆さまのお申込みをお待ちしています。詳細はホームページにも掲載されています。お申込みは俳人協会事務局までお願いいたします。

◆俳人協会六十年史

俳人協会の発足から六十年の歩みを年度ごとに編集。
 頒価2,500円 送料310円



◆声のアルバム

歴代会長八人の講演録を抜粋。
 頒価1,500円 送料180円



◆俳人協会所蔵名品集

—近世俳諧の潮流—
 俳人協会所蔵の名品を紹介。
 頒価1,200円 送料370円



〈ご案内〉大分県支部「秋の吟行俳句大会」

期 日 令和四年十月二十三日(日)
 場 所 宇佐市 宇佐神宮 参集殿
 ※募集要項を八月に届けます。大分駅から貸切バスを出します。



会員名簿5年ぶりに刷新

総会で発表された通り、5年ぶりに俳人協会の会員名簿が新しく発行されます(発行日等は未定)。

ご自身の所属する俳句結社、住所、電話番号などが変更となった場合、葉書に氏名、会員番号、所属結社(新・旧)を明記の上、必ず俳人協会本部事務局までお知らせ下さい。(事務局)

◆俳人協会所蔵名品集

—近現代俳句の歩み—
 俳人協会所蔵の名品を紹介。
 頒価1,200円 送料370円



◆俳人協会賞作品集「第三集」

受賞作品三十三冊を二段組にて紹介。
 定価3,850円 送料520円



◆ふるさとの情景

「俳句文学館」連載の250編を収録。
 定価2,800円 送料310円



◆編集後記

▼六月中旬のこと、映画館を出てからの光景に驚きました。若者たちのグループが別府駅前通り一帯を賑やかにしていました。タクシードライバーさんから「今日はコンサートがあったから」と聞いたのですが、日々、今日のコロナは〇〇人と報道される中で、ひと昔前の観光地別府にタイムスリップしたようでした。「日常が戻ってきた!!」と、友人たちと安堵しつつ久闊を叙した宵でした。この夏は、自粛していた行事や地域の祭なども次第に再開されるようです。やっと出口が見えてきました。

▼五月の総会・俳句大会は三年ぶりの開催でした。賛否両論ありましたが、コロナの数を数えて暮らしていても何も進まない。と役員会で決定、実施して良かったです。参加者の皆様有難うございました。総会は滞りなく終わり、本部より三村純也先生をお迎えした俳句大会は改めて「俳句は座の文学」であることを思いました。(律)

俳人協会大分県支部
 会報「おおいた」第四十四号
 令和四年八月発行
 発行人 俳人協会大分県支部
 編集人 小松 生長
 かみあし律
 事務局 千七七〇一〇八七二
 大分市高崎三一三一―四
 かみあし律
 ☎〇九七―五四六一二九三四
 印刷所 (株)大分出版印刷